

まちづくりの極意 未来デザインとは!?

TAISHO UNIVERSITY
大正大学地域創生学部
金子洋二



- ## まちづくりの進め方
- 1 住民の夢と望みを共有する
 - 2 まちの宝物を発掘する
 - 3 宝物を活かすプランをつくる



地域資源を磨くポイント

- 1 地域の固有性を大切にする**
- 2 外からの視点を取り入れる**
- 3 資源同士を組み合わせる**

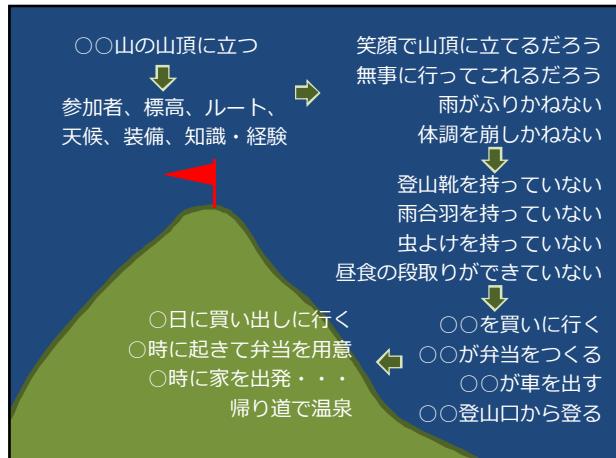
ウサギ vs カメ

目的
計画

頂上をめざし、段取りを組む →

何から始めますか？

たとえば、
「今年の登山計画」
を立てるとしたら…



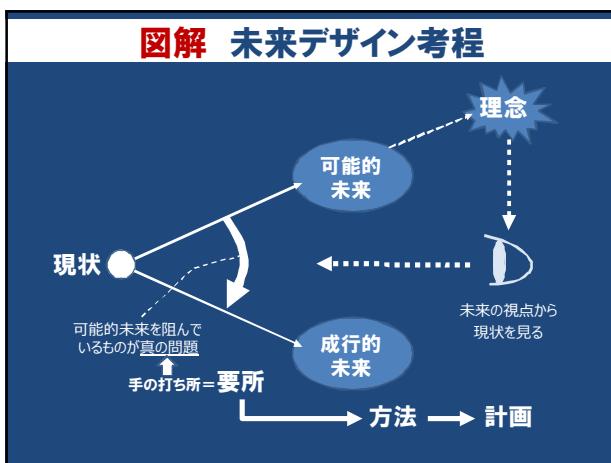
未来デザインとは

まちづくりへの住民参加の重要性が叫ばれていた1990年代、様々な地域のまちづくり計画に携わっていた新潟市の清水義晴さんが考案した、まちの「未来」を「デザイン」する手法。
新潟発のまちづくりツールとして、講座や現場での実践を通じ、全国で活用されている。

デザイン = 設計する／計画する／立案する

まちづくりを考える手順 未来デザイン考程

- 1 理念設定:** 何のためにやるのか究極の目的を明確にする
- 2 現状把握:** 好ましい現状と気になる現状を整理する
- 3 未来予測:** 可能的未来と成り行き的未来を描く
- 4 要所解明:** 成り行きを変える手の打ち所を探す
- 5 方法立案:** 実現のための方針・方策を立案する
- 6 計画編成:** 具体的な作業手順を整理する



未来デザインの特長①

未来の視点から描くため、
理念(理想の未来像)に向
かってブレのない計画を策
定することができます。

未来デザインの特長②

小さなプロジェクトから自治
体レベルの長期計画まで、
様々な規模の計画づくりに
活用できます。

未来デザインの特長③

実践を通して磨かれた情
報生産技術により、多くの
人を巻き込みながら、比較
的簡単な手順で計画を作
ることができます。

トータルプロセスデザイン

- 基軸デザイン**
まちづくりを進める上で「根幹となる要素」を設定する
(目的・前提条件・達成目標・予算・実施期間)
- 組織デザイン**
まちづくりに関わる人と情報のあり方を整理・設定する
(組織編制と役割分担・専門家の選任・情報共有と発信の方法)
- プロセスデザイン**
目標を達成するための手順を組み立てる
(アクションプラン・評価方法)
- 場と手法のデザイン**
一つ一つの作業と参加の場の内容や運営の仕方を設定する
(手法の選択・プログラム作成)

